

2014年レーザー級全クラス世界選手権等代表選手選考方針

1. レーザー、ラジアル（男子・女子）、世界選手権

代表選手を下記要領で選考する。

(1) 選考大会

- ① 2013年全日本ラジアル選手権大会 (11月 淡輪)
- ② 2014年度 JSAF ナショナルチーム選考大会 (12月 和歌山)
- ③ 2014年ミッドウィンター選手権大会 (2月 江の島)

(2) 選考大会 / 選考枠数

●レーザー男子

- ① 2014年度 JSAF ナショナルチーム選考大会：世界選手権出場枠数から1枠を減じた枠数
- ② 2014年ミッドウィンター選手権大会：1枠
***ただし世界選手権出場枠数が3枠以上の場合に限る** (注1)
*2013年レーザー全日本選手権大会とレーザー級世界選手権が同時期開催のため、2014年ミッドウィンター選手権大会を選考大会とします。

●ラジアル女子

- ① 2013年全日本ラジアル選手権大会：1枠
***ただし世界選手権出場枠数が3枠以上の場合に限る** (注1)
- ② 2014年度 JSAF ナショナルチーム選考大会：世界選手権出場枠数から1枠を減じた枠数

●ラジアル男子

- ① 2013年全日本ラジアル選手権大会：2枠
- ② 2014年ミッドウィンター選手権大会：1枠

2. 2014年度 JSAF ナショナルチーム選考大会（オリンピック艇種）

2013年12月 JSAF ナショナルチーム選考大会が実施される。詳細については JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示参照のこと。

3. 2014年レーザースタANDARD(U21)、ラジアル女子(U21)、世界選手権

代表選手を下記要領で選考する。

(1) 選考大会

- ① 2013年全日本レーザー選手権大会 (11月 唐津)
- ② 2013年全日本ラジアル選手権大会 (11月 淡輪)
- ③ 2014年ミッドウィンター選手権大会 (2月 江の島)

(2) 選考大会 / 選考枠数

●レーザースタANDARD (U21)

- ①2013年全日本レーザー選手権大会：世界選手権出場枠数の60%
- ②2014年ミッドウィンター選手権大会：世界選手権出場枠数の40%

●ラジアル女子 (U21)

- ①2013年全日本ラジアル選手権大会：世界選手権出場枠数の60%
- ②2014年ミッドウィンター選手権大会：世界選手権出場枠数の40%

4. 2014年ラジアルユース世界選手権 (男子・女子)

下記(4)に基づき代表候補選手の個人ランキングを作成、この上位者から世界選手権代表選手を決定する。世界選手権代表選手はJSAFオリンピック強化委員会にJSAF補助対象選手として推薦する。

(1) ラジアルユース世界選手権出場枠数

ILCAより配分され日本レーザークラス協会強化委員会が決定した枠数

(2) JSAF補助対象選手数 / 補助内容

JSAFオリンピック強化委員会が決定し公示

*選手ランキングにより補助内容が異なる場合がある。

(3) 選考大会

- ①2013年全日本ラジアル選手権大会 (11月 淡輪)
- ②2014年ミッドウィンター選手権大会 (2月 江の島)
- ③2014年ISAFユースワールド選考大会 (3月 和歌山)
- ④2014年JOCジュニアオリンピックカップ (5月 唐津)

(4) 選考審査項目・内容

①世界選手権選考大会で獲得した総合成績を使用する。なお複数大会に出場した選手についてはベスト3大会のポイントを使用する。ランキングポイントの付与については以下のとおりとする。

*ランキングポイント：当該大会に参加した選考対象年齢の選手に対し下記のポイントを付与する。

- a.参加艇数の上位50%以内の成績を収めた選手に対し、獲得最終成績から相対評価を表し、その値をポイント換算し与える。
- b.上記a.以外の選手に対し参加ポイントとして1点を与える。

②身体能力測定

身体能力測定を実施する。2013年7月1日公示「2014年度身体能力測定について」参照のこと。

*身体能力測定については、2014年JOCジュニアオリンピックカップ(5月)併催の強化合宿内で実施する。

身体能力測定ポイントの加算について

2014年JOCジュニアオリンピックカップ(5月)に併催される強化合宿参加人数から順位をポイント換算し、その50%をランキングに反映させる。

*身体能力測定ポイント加算対象者：それぞれの身体能力測定時において、ラジアル級の代表候補選手(対象強化合宿もしくはランキング対象大会へ参加していること)を対象とする。

5. 2014年 ISAF ユースワールド代表選手選考方法（ラジアルユース男女各1枠）

2014年3月 ISAF ユースワールド選考大会にて実施される。詳細については JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示参照のこと。

6. 2013年4.7級世界選手権（男子・女子）

2013年7月1日公示「2014年 Laser 4.7級ユース世界選手権選考方法について」参照のこと。

7. 2014年 冬季海外遠征代表選考（ラジアルユース男女、4.7クラス男女）

下記、**選考大会**の上位者から代表選手を決定。代表者は JSAF オリンピック強化委員会に JSAF 補助対象選手として推薦される。

(1) 冬期海外遠征代表枠数

①ラジアル枠数 男女各1枠

②4.7 枠数 男女各1枠

***ラジアル級世界選手権と同時期の大会のため派遣艇種、派遣人数について変更される場合がある。**（注2）

(2) 選考大会

①2013年全日本ラジアル選手権大会（11月 淡輪）

③2013年全日本4.7級選手権大会（11月 唐津）

8. 全クラス 共通事項

(1) 選考大会成立レース数

成立レース数が3レース未満の大会は、選考対象としない。

(2) 選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。それでも対象者がいない場合は、他の選考大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。選考大会が複数ある場合は、大会番号の若い順から選考する。

*大会番号は「別紙各クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）」に記載。

(3) 選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

指定大会における権利獲得を優先する。指定大会が複数ある場合は大会番号の若い順から選考する。

(4) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

(5) 世界選手権等出場枠の配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。

②ILCAからの参加枠付与が減少した場合、別紙各クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）にある大会番号の若い順から選考枠を付与する。

(6) タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、選考大会一覧表にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

9. その他

(1) 国際大会派遣等について

選考大会が実施できない場合、もしくは選考大会不成立により代表選手を決定できない場合は、本選考方針に準じ選考委員会がランキングを作成し選手を決定、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。

(2) 本件についての質疑等については、レーザークラス協会強化委員会あてメール、FAXにて問い合わせ願います。

日本レーザークラス協会強化委員長 佐々木共之

電子メール アドレス : ilcaipn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

FAX : 0467-76-1052

以 上

添付 クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）

	2013年 オリンピック 兼関東選手権	2013年 全日本 ラジアル 選手権	2013年 全日本 4.7級 選手権	2013年 全日本 レーザー 選手権	2013年 JSAF ナショナルチーム 選考大会	2014年 ミッドウインタ ー選手権	2014年 ISAF ユースワールド 選手権 大会	2014年 JOCジュニア オリンピック カップ
大会番号	⑧	②	④	③	①	⑤	⑥	⑦
開催月日 場所	9月 江の島	11月 淡輪	11月 唐津	11月 唐津	12月 和歌山	2月 江の島	3月 和歌山	5月 唐津
スタンダード					出場枠数から1枠を減じた枠数	1枠 (注1)		
ラジアル (女子)		1枠 (注1)			出場枠数から1枠を減じた枠数			
ラジアル (男子)		2枠				1枠		
スタンダード(U21)				出場枠数の60%		出場枠数の40%		
ラジアル 女子(U21)		出場枠数の60%				出場枠数の40%		
ラジアル ユース (男女)	ランキング方式及び指定大会での選考方式を採用する							
		冬期海外 遠征 男女 各1枠 (注2)						
4.7級 (男女)	2014年4.7級ユース世界選手権選考大会 一覧表参照 (News No213)							
			冬期海外 遠征男女 各1枠 (注2)					

(注1) 世界選手権出場枠数が3枠以上の場合に限る

(注2) 派遣艇種、派遣人数について変更される場合がある。